



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社
 コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃
 問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 平木 親臣 TEL 075-778-4111
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	12,330	7.3	611	36.8	673	46.6	389	28.5
30年3月期第1四半期	11,493	3.7	446	54.5	459	—	302	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 416百万円 (63.8%) 30年3月期第1四半期 254百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	39.27	—
30年3月期第1四半期	30.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	24,456	10,800	44.1
30年3月期	24,354	10,451	42.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 10,785百万円 30年3月期 10,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成31年3月期の第2四半期末及び期末配当予想額は未定としております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	4.1	500	△34.9	500	△26.1	200	17.0	20.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当ブライダル業界は婚礼の施行時期に季節的変動があり、当社は業績管理を年次で行っていることから、第2四半期連結累計期間については業績予想の開示を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	9,909,400株	30年3月期	9,909,400株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	522株	30年3月期	522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	9,908,878株	30年3月期1Q	9,908,949株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料等に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、沖縄・古宇利島に平成30年7月オープンした「古宇利島 空と海の教会」、ハワイ・コオリナ地区に平成30年10月リニューアルオープン予定の「コオリナ・チャペル・プレイス・オブ・ジョイ」の新規挙式施設の受注が好調に推移いたしました。加えて、多様化するお客様のニーズを満たすべく、衣裳・旅行などの挙式付帯商品のラインナップを充実させるなど、リゾート挙式における付加価値の高い提案を行い、1組当たり単価の向上を図りました。また、全国の直営店舗の再編をスタートし、4月に福岡店を路面店へと移転し、5月から6月にかけて名古屋エリアの2店舗を、それぞれ受注と打ち合わせを分けた専門店へとリニューアルオープンするなど、各地域性に合わせた顧客満足の高い店舗展開を行いました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、ホテル雅叙園東京では、前期に引き続き、ラグジュアリーシティホテルとしてのブランド価値訴求を積極的に展開し、宿泊・婚礼共に好調に推移いたしました。また、平成30年4月には90周年事業コンセプト「A MUSEUM HOTEL of JAPAN BEAUTY」を発表し、ホテル雅叙園東京の歴史・文化を発信していくことで、さらなるブランド認知拡大を図るべく各種施策をスタートいたしました。メルパルクでは、平成30年3月に実施した岡山・広島などの客室リノベーション効果により、稼働率・客室単価が向上いたしました。また、ワタベウェディングとの共同事業として、全国のメルパルク10施設内のフォト事業をワタベウェディングの直営店舗として運営を開始し、さらに婚礼においても、グループ内のマーケティング、人材などのリソースを活かした婚礼強化プロジェクトを本格稼働し、収益向上に寄与いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高12,330百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益611百万円（前年同四半期比36.8%増）、経常利益673百万円（前年同四半期比46.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益389百万円（前年同四半期比28.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数は減少したものの、顧客ニーズに合わせた商品展開を行ったことなどにより、1組当たり単価が増加し、売上高は5,132百万円（前年同四半期比10.4%増）となりましたが、利益面につきましては、新施設や新事業立ち上げに伴う広告宣伝費、専門人材採用などの先行投資により、セグメント利益は92百万円（前年同四半期比10.9%減）となりました。

② ホテル・国内挙式

積極的なブランド価値訴求や客室リノベーションなどの効果により、売上高は7,197百万円（前年同四半期比5.2%増）となったほか、利益面につきましては、原価や販売管理費の削減に努めた結果、セグメント利益は511百万円（前年同四半期比49.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ542百万円減少し、9,631百万円となりました。これは主に流動資産のその他が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ644百万円増加し、14,825百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他が増加したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、24,456百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ227百万円減少し、10,094百万円となりました。これは主に賞与引当金の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、3,561百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ246百万円減少し、13,655百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ348百万円増加し、10,800百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成30年5月10日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,689	5,846
売掛金	1,630	1,745
商品	220	229
原材料及び貯蔵品	410	385
その他	1,242	1,444
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	10,173	9,631
固定資産		
有形固定資産		
貸衣裳(純額)	104	115
建物及び構築物(純額)	4,980	5,123
器具備品(純額)	1,191	1,226
土地	1,893	1,893
その他(純額)	455	519
有形固定資産合計	8,626	8,879
無形固定資産		
のれん	574	723
その他	597	633
無形固定資産合計	1,171	1,356
投資その他の資産		
差入保証金	2,718	2,744
その他	1,667	1,848
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,382	4,589
固定資産合計	14,180	14,825
資産合計	24,354	24,456
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,801	1,940
短期借入金	1,950	1,950
前受金	2,788	2,911
賞与引当金	711	370
その他	3,071	2,922
流動負債合計	10,322	10,094
固定負債		
長期借入金	1,400	1,300
退職給付に係る負債	1,192	1,214
資産除去債務	805	874
その他	181	171
固定負債合計	3,579	3,561
負債合計	13,902	13,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,052	4,051
利益剰余金	2,701	3,036
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,929	11,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	23
繰延ヘッジ損益	△43	14
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	485	449
退職給付に係る調整累計額	△64	△61
その他の包括利益累計額合計	△503	△477
非支配株主持分	25	14
純資産合計	10,451	10,800
負債純資産合計	24,354	24,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	11,493	12,330
売上原価	3,598	3,872
売上総利益	7,895	8,457
販売費及び一般管理費	7,448	7,845
営業利益	446	611
営業外収益		
為替差益	38	85
その他	26	31
営業外収益合計	64	117
営業外費用		
休止施設費用	47	48
その他	5	6
営業外費用合計	52	54
経常利益	459	673
特別利益		
固定資産売却益	2	—
受取補償金	—	13
特別利益合計	2	13
特別損失		
固定資産除売却損	1	—
施設店舗整理損	11	14
特別損失合計	12	14
税金等調整前四半期純利益	449	672
法人税等	140	282
四半期純利益	308	390
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	302	389

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	308	390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
繰延ヘッジ損益	△7	58
為替換算調整勘定	△39	△37
退職給付に係る調整額	△10	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△54	25
四半期包括利益	254	416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248	414
非支配株主に係る四半期包括利益	5	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,650	6,843	11,493	—	11,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,905	40	1,945	△1,945	—
計	6,555	6,884	13,439	△1,945	11,493
セグメント利益	103	342	445	1	446

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	5,132	7,197	12,330	—	12,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,958	37	1,996	△1,996	—
計	7,091	7,235	14,326	△1,996	12,330
セグメント利益	92	511	603	7	611

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。